

せかいのひとびと

ピーター・スピアー／絵・文 松川真弓／訳
評論社

時計つくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ／作 あべきみこ／訳
こぐま社

わすれられないおくりもの

スーザン・バーレイ／作・絵 小川仁央／訳
評論社

ありがとう、フォルカーせんせい

パトリン・ボラッコ／作・絵 香咲弥須子／訳
岩崎書店

ソルビム お正月の晴れ着

ペ・ヒョンジュ／絵・文 ピョン・キジャ／訳
セーラー出版

メアリー・スミス

アンドレア・ユーレン／作 千葉茂樹／訳
光村教育図書

くしゃみくしゃみ天のめぐみ

松岡享子／作 寺島龍一／画 福音館書店

こそあどの森の物語

ふしぎな木の実の料理法
岡田淳／作 理論社

菜の子ちゃんと龍の子

日本全国ふしぎ案内 1
富安陽子／作 福音館書店

クローディアの秘密

E.L.カニグズバーグ／作 松永ふみ子／訳
岩波書店

じぶんでつくろう こどものしゅげい

大月ヒロコ／作 木村愛／絵 福音館書店

おっと合点 承知之助

齋藤孝／文 つちだのぶこ／絵 ほるぷ出版

おーい ぼぼんた

茨木のり子ほか／編 福音館書店

家読（うちどく） 本で 家族の コミュニケーションを。

おとなの方へ

うちどくとは
家族でいっしょに本を読んだり、
本について話したりすることです。

それぞれのご家庭にあった方法で、
本をつかった楽しい習慣を、はじめ
てみませんか。

たとえば、

- ◆家族で、図書館や書店にでかけて本を選ぶ
- ◆おはなし会のように、子どもがおとなに、おとなが子どもに、本を読んであげる
- ◆読んでおもしろかった本を家族にすすめる
- ◆家族でうちどくの日を決めて、本を読む時間をつくる
などなど。

できることから、始めてみましょう。

LET'S READ A BOOK

●●ステップ

読んでみませんか
うちどくにおすすめの本



小郡市立図書館

小郡市大板井136-1 TEL 0942-72-4319

<http://www.library-ogori.jp/>



シロナガスクジラより 大きいものって いるの？

ロバート・E・ウェルズ／作・絵 せなあいこ／訳 評論社

地球上の動物のなかでいちばん大きいシロナガスクジラ。でも、世の中にはもっともっと大きなものがあるのです。地球って、宇宙って、すごいなあと感じる絵本です。



かえるの平家ものがたり 日野十成／文 斎藤隆夫／絵 福音館書店

古典（こてん）がにが手な人もこの物語なら楽しめます。がまじいさんが語って聞かせる、「かえるの源氏」に“ねこの平家”のものがたり。さてさて戦いはどうなりますやら。



ぼくがラーメンたべてるとき 長谷川義史／作・絵 教育画劇

いま、このとき、地球のうらがわでは、何がおこっている？ ラーメンたべてるぼくのとなりではねこがあくび、その時おとなりでは、そのまたおとなりでは…。



うそつきの天才 ウルフ・スタルク／著 菱木晃子／訳 小峰書店

ひとつのうそが、どんどん大きくなっちゃうことってあるよね。「はっきりいって、十三歳にしては、ぼくはうそをつくのがうまい」じょう“うそつきの天才”だった少年のおはなし。



なぞなぞのたび 石津ちひろ／なぞなぞ 荒井良二／絵 フレーベル館

男の子といっしょに、なぞなぞのたびにでかけましょう。この絵本には100のもんだいがかいてあります。むずかしいなぞなぞは、よく絵をみると、答えがみつかりますよ。



こども世界の民話 上・下 内田莉沙子ほか／著 実業之日本社

世界中のいろいろな国の昔ばなしを集めた本です。ふしぎな話、わらえる話、ちょっぴりこわい話、いろいろと楽しむことができます。



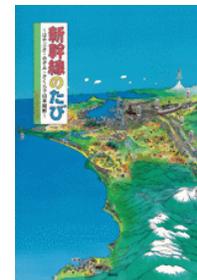
ちきゅうがウンチだらけに ならないわけ 松岡たつひで／作 福音館書店

生き物はみんな、食べたらずすのがあたりまえです。この広い地球で出たたくさんウンチはどうなっている？ウンチのやくわりについて、わかりやすく、くわしく書かれた本です。



せいめいのれきし 改訂版 バージニア・リー・バートン／文・絵 いしいもこ／訳 岩波書店

地球が生まれてから今日までに、どれだけの長いれきしがあつたか、絵と文章でやさしく教えてください。長い物語ですから、少しずつじっくり読んでみましょう。



新幹線のたび はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断 コヤマスカン／作 講談社

青森にすんでいる、はるかとお父さんが、新幹線をのりついで、鹿児島のおじいちゃんに会いに行きます。読む人もいっしょに旅をしている気分になれる、たのしい絵本です。